

健康情報取得に用いる媒体がワクチンの接種の意思決定に影響を及ぼす

新型コロナワクチンの接種が開始される以前、多くの日本人はワクチンを接種すべきか決めかねており、そのような人々の判断が、集団免疫の達成を左右する状況でした。わが国における過去の研究では、健康に関する情報源の種類がワクチン接種意向と関係したと報告されていますが、実際のワクチン接種への影響は不明でした。

そこで本研究では、ワクチンの接種状況と、20種類の情報源の利用との関連性を評価しました。「日本における COVID-19 問題による社会・健康格差評価研究 (JACSIS)」において収集された、2万人以上の大規模全国アンケート調査によって得られたデータを解析しました。ワクチンの集団接種が開始される前の 2021 年 2 月の調査で「様子を見てからワクチン接種したい」と回答した参加者を解析対象とし、全国民がワクチンを接種できるようになった同年 9～10 月に、実際のワクチンの接種状況と、どのような媒体から健康情報を入手していたかを調べました。

その結果、テレビのニュースから情報を得た人が 78.8% だった一方、Facebook は 4.0% など、媒体によって利用率に大きな幅がありました。また、情報源が職場・学校や、LINE であった人はワクチン接種率が高く、ネットニュースや動画共有サイトであった人は接種率が低かったことが分かりました。

以上より、健康情報を得る媒体の種類が、新型コロナワクチン接種の意思決定に影響を及ぼしたことが明らかになりました。公衆衛生の専門家らにとって、さまざまな情報源の特性を理解し、適切に活用することが重要であったと示唆されました。

研究代表者

筑波大学医学医療系

堀 大介 助授

研究の背景

ワクチンは感染症に対する最も有効な予防方法の一つです。とは言え、感染症を封じ込めるためには、有効なワクチンの開発だけでは不十分です。十分な数の人々がワクチンを接種することで、ワクチンは最大限に効果を発揮します。海外の研究では、新型コロナウイルス（COVID-19）のワクチン接種が開始される前の接種意向から、その後の接種状況までを追跡した研究例がいくつか報告されており、ワクチンを接種したいと以前から考えていた人の中では集団接種の開始後にワクチンを接種した人が多く、逆に接種したくないと以前から考えていた人の中ではその後も未接種の人が多くいたこと、両者の中間であった人々の中には接種した人もそうでない人もいたことが示されています。ただ、そうした人々の意思決定がどのような要因に影響を受けたかについては、よく分かっていませんでした。日本では、新型コロナワクチンの接種が開始される以前、約 3 分の 1 の人がワクチンを受けるべきか否か決めかねており、このような人々がワクチンを接種するかどうかが集団免疫^{注1)}の達成を左右する状況でした。

ワクチン接種の意思決定には情報源が大きな役割を果たすと考えられています。わが国における過去の研究では、健康に関する情報源の種類がワクチン接種意向と関係することが報告されていました。ただし、その多くは集団接種が開始される以前の接種意向の調査に留まっていた。そこで本研究では、ワクチンの集団接種開始前にワクチン接種意向が定まっていなかった人々を対象に追跡調査を行い、利用していた情報源の種類とワクチンの実際の接種状況との関連性を評価しました。

研究内容と成果

本研究では、「日本における COVID-19 問題による社会・健康格差評価研究（JACSIS）」において収集された、2 万人以上の大規模全国アンケート調査によって得られたデータを解析しました。JACSIS は、我が国において健康・医療・働き方・経済などの諸問題がコロナ禍でどのように変化したかを調査するために、インターネット調査会社にモニターとして登録されている人々を対象に、2020 年に開始された前向きコホート研究^{注2)}で、現在も継続的に調査が続けられています。

まず、ワクチンの集団接種が開始される前の 2021 年 2 月にワクチンの接種意向を尋ね、「様子を見てから接種したい」と回答した人（集団接種の開始当初に優先接種の対象であった医療従事者・高齢者・基礎疾患のある人を除く）を、追跡しました。さらに、全国民がワクチンを接種できるようになった同年 9～10 月に、実際のワクチンの接種状況を尋ねました。併せて、家族、友人・知人、職場・学校、医療従事者、有名人、専門家、官公庁のウェブサイト、研究機関のウェブサイト、動画共有サイト、LINE、Twitter、Facebook、Instagram、ネットニュース、新聞、雑誌、書籍、テレビのニュース、テレビのワイドショー、ラジオといった 20 種類の情報源それぞれについて、COVID-19 など健康に関する情報を得るために利用しているかを、「はい」か「いいえ」で回答してもらいました。これらのデータを、二項ロジスティック回帰分析^{注3)}を用いて統計解析し、調整オッズ比と 95%信頼区間を推定しました。2021 年秋時点でのワクチンの接種状況を二群に分類し（一回以上接種済み／予約者／意向あり=1、様子を見てから接種したい／接種したくない=0）、目的変数^{注4)}としました。説明変数^{注4)}は、20 種類の情報源および性別や年齢などでした。

不自然な回答や欠値を除外したところ、実際の解析対象者は 5,139 人（平均年齢：42.8 歳、女性：55.7%）でした。このうち、2021 年秋にワクチン接種を済ませていた者（予約者・意向がある者含む）の割合は 85.7%でした。テレビのニュースから健康関連情報を得た人が 78.8%である一方、Facebook から情報を得た人は 4.0%など、媒体によって使用率には大きな幅がありました。さらに回帰分析をした結果、ワクチンを接種した人は職場・学校 [調整オッズ比：1.49, 95%信頼区間：1.18-1.89] や LINE [1.81, 1.33-

2.47] から情報を得た人に多く、ネットニュース [0.69, 0.55-0.86] や動画共有サイト [0.62, 0.48-0.82] から情報を得た人では少なかったことが分かりました (図1)。

今後の展開

本研究により、新型コロナワクチンの接種が開始する前に様子見していた人々の意思決定には、利用する情報源の種類が重要な役割を果たしていたことが分かりました。職場・学校や LINE からの情報が、接種意向を促したと考えられる一方で、ネットニュースや動画共有サイトからの情報は、逆方向に働いた可能性があります。公衆衛生の専門家らにとって、さまざまな情報源の特性を理解し、適切に活用することが重要であったと示唆されました。

ただし、情報を得ることとワクチン接種とで、どちらが原因でどちらが結果の関係にあったのか断言できないこと、それぞれの情報源からどのぐらいの頻度でどのような情報を得ているかが分からないこと、インターネット調査会社の登録モニターには属性などに偏りがあることなどから、結果の解釈には注意が必要です。また、COVID-19 の流行状況や関連する政策などに応じて人々の意識は常に変化し続けていると考えられるため、調査のタイミングによって異なる結果が出る可能性もあり、今後もこの問題に関する議論を継続する必要があると考えられます。

参考図

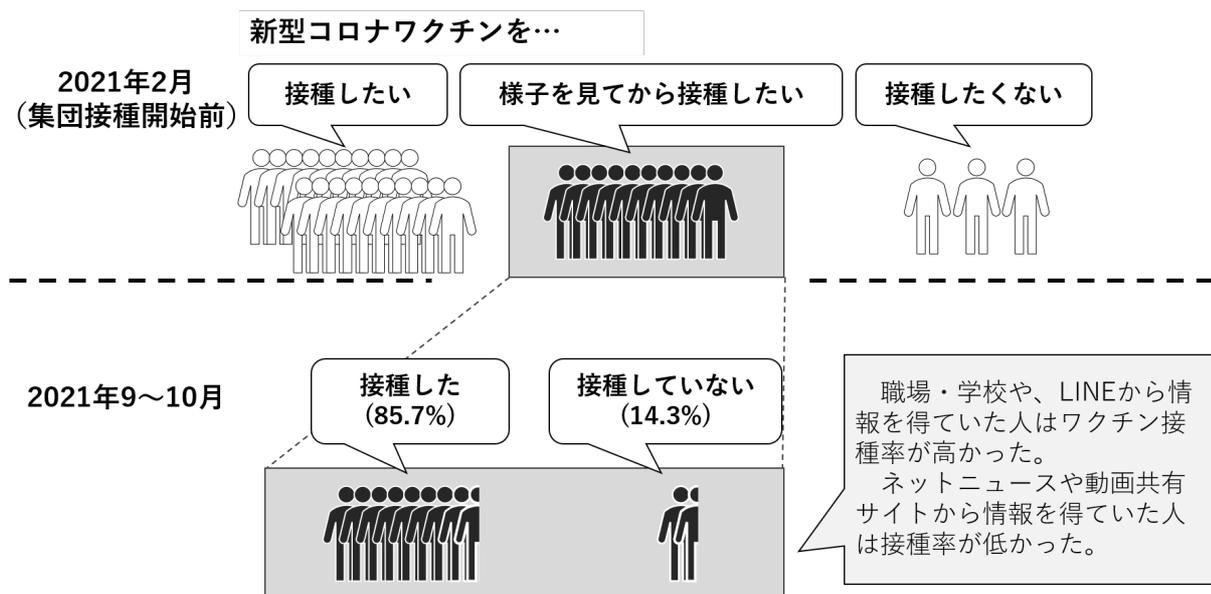


図1 本研究における解析結果の概要

用語解説

注1) 集団免疫

人口の一定割合以上の人々がワクチンを接種するなどして特定の病原体に対する免疫を持ち、感染症が流行しなくなる状態。

注2) 前向きコホート

あらかじめ対象集団を設定し、将来にわたり追跡調査する研究手法。本研究では、新型コロナワクチンを接種するかどうかを追跡した。

注3) 多項ロジスティック回帰分析とオッズ比

情報源・年齢・性別などの複数の要因から、新型コロナワクチンを接種したか否か、といった結果が起

こる見込み（オッズ比）を予測する統計手法。今回の場合は、オッズ比が 1 より大きいほど接種する見込みが高く、オッズ比が 1 より小さいほど接種する見込みが低かったことを意味する。

注 4) 目的変数と説明変数

目的変数は因果関係の結果として想定された変数のことを指し、予測の対象となる。説明変数は目的変数の原因として想定された変数のことを指す。

研究資金

本研究は日本学術振興会科研費（17H03589, 18H03062, 18H03107, 19H03860, 19K10446, 19K10671, 19K19439, 21H04856）や筑波大学「知」活用プログラムなどの支援を得て実施されました。

掲載論文

【題名】 The influence of information sources on intention changes to receive COVID-19 vaccination: A prospective cohort study in Japan
(新型コロナワクチン接種の意思決定に情報源が及ぼした影響：日本における前向きコホート研究)

【著者名】 Daisuke Hori, Tsukasa Takahashi, Yudai Keneda, Akihiko Ozaki, Takahiro Tabuchi

【掲載誌】 Environmental Health and Preventive Medicine

【掲載日】 2023年2月2日

【DOI】 10.1265/ehpm.22-00266

問い合わせ先

【研究に関すること】

堀 大介（ほり だいすけ）

筑波大学医学医療系 助教

URL: <https://trios.tsukuba.ac.jp/researcher/0000004139>

【取材・報道に関すること】

筑波大学広報局

TEL: 029-853-2040

E-mail: kohositu@un.tsukuba.ac.jp